

計画の名称	新宿駅周辺地区		
計画の期間	令和3年度～令和7年度（5年間）	交付対象	
計画の目標			
大目標	まちの回遊性の向上と賑わいの創出		
小目標	まちの賑わいを創出する道路空間の充実		
計画の成果目標（定量的指標）			
道路占用許可の特例制度により、歩道上オープンカフェを実施することにより、小休憩のできる滞留空間を形成し、まちの賑わいの創出を図る。			
定量的指標の定義			定量的指標の現況地及び目標値
		当初現況値	中間目標値
		R1	R7
① オープンカフェを利用する年間利用者数		125,000人	140,000人
			備考
事後評価			
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期		
	令和8年2月		
新宿区において評価を実施	公表の方法		
	新宿区ホームページ		
事業効果の発現状況 目標値の達成状況			
I 定量的指標に関連する事業の効果の発現状況	・オープンカフェの設置等により、にぎわいのある歩行者空間の創出を図るとともに、道路空間の日常的な美化活動（除草、ゴミ拾い）や違法駐輪対策に取り組んだ		
II 定量的指標の達成状況	指標①	最終目標値 140,000人	目標値と実績値 111,000人
		最終実績値	に差が出た要因 新宿駅周辺の地下歩行者ネットワークにおいて、バリアフリールートが整備がされたこと等による来街者の歩行導線の変化があったため
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況			
特記事項（今後の方針等）			
<p>・新宿駅三丁目まちづくり誘導方針等上位計画にて、新宿三丁目のまちづくりにおいて当該地周辺は地下歩行者ネットワーク及びバリアフリー経路の拡充を進めており、今後來街者は用途等に応じ構築されたネットワークを利用することが想定される。来街者の歩行者導線が変化したことにより、定量的指標が目標値を達成しなかった。</p> <p>・しかし、新宿区として、占用事業者による占用物件の適切な設置、占用事業者が主体となったまちづくり活動（道路清掃、防犯活動等）の継続的な実施による違法行為の抑制や沿道環境の改善といった課題解決が必要であるため、引き続き、都市再生整備計画の更新を行う。</p>			

都市再生整備計画 事後評価書

